

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル（科目名）		授業の種類	授業担当者	当該科目に関する実務経験
こどもの生活と健康		（ 講義・ 演習 ・ 実習 ）	河村 和代	保育士
			伊藤 彩	幼稚園教諭
授業の回数	時間数（単位数）	配当学年・時期	必修・選択	
15 回	30 時間（1 単位）	1 年・前期	必修	
[授業の目的・ねらい]				
・ こどもの健康に関わる生活（運動、生活習慣、食行動等）の影響について理解し、保育現場における指導力を養う。				
[授業全体の内容の概要]				
・ こどもの健康を促進する側に立ったとき、こどもの生活と健康に関する現状把握とそれによる課題の特定は重要である。本講座では、こどもの生活と健康に関する理解を深め、それらの結びつきから健康の実現を促す諸要因の働きについて検討していく。				
[授業終了時の達成課題（到達目標）]				
・ こどもの健康に関わる課題を自ら発見し、その解決に主体的に取り組むことができる素養を身につける。				
[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法]				
コマ数				
1. 領域「健康」及び基本について				
2. 乳幼児の発達と保育				
3. 生活リズムと生活習慣				
4. 安全と保健指導の在り方				
5. 乳幼児の発達の見方・捉え方について				
6. 乳幼期に培いたい「食を営む力」				
7. 領域「健康」と保育方法				
8. 運動意欲を育む指導とはについて				
9. 健康や病気に関心を持つには				
10. 生活の場を整えるとはについて				
11. 保育環境の安全性について				
12. 主なアレルギー疾患とその対応について				
13. 食育の環境				
14. 領域「健康」の変遷について				
15. 期末試験				
[使用テキスト]				
・ 新・保育講座 保育内容「健康」（ミネルヴァ書房）				
・ 保育所保育指針				
[参考文献]				
・ 新潟市「保育計画」作成の手引き				
・ 保育園における感染症対策ガイドライン				
[成績評価の方法と基準]				
教科出席率が 80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。				
・ 考查点(75%)				
・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記試験により期末考查を実施する。				
・ 平常点(25%)				
・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。				
・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。				